

参考資料としてご活用ください。研究内容や研究対象者によって記入事項は異なりますので、自身の研究に合わせた内容に適宜変更ください。審査の過程で研究計画を見直すようアドバイスがある場合があります。

## 研究計画書

20 年 月 日

<b>1. 研究課題名</b>
<b>2. 研究期間 (実験・調査開始から研究終了までの期間をご記入ください)</b>
20 年 月 日 (承認日以降) ～ 20 年 月 日
<small>※倫理審査委員会承認後の日程をおおよその開始日とし、学位論文研究の場合、終了日は年度末に設定する。</small>
<b>3. 研究の目的と意義 (別添も可)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 科学的に妥当な研究か、背景がしっかりとしているか (思いつきでないか)、何を明らかにしたいのか、それにはどのような意義があるのかを記入する</li> <li>● 研究の背景を、先行研究を踏まえて説明する。現時点で分かっていること、分かっていることを明記し、なぜ研究するのかを、専門外の人や初めて読む人にも理解できるように説明する。注記や参考文献についても記入する</li> <li>● 学部生や院生の方は、自身の研究目的を記した別紙などでも可</li> </ul>
<b>4. 研究方法 (研究の科学的合理性の根拠も含めて記入すること、別添も可)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● どのような方法で何をするのか、どれくらい (時間、頻度) 行なうのかを記入する。この欄だけでは分かりにくい場合は、別紙などでも可</li> <li>● 研究対象者にどれくらいの時間・回数で調査に協力いただくのか。本項目では特に、研究対象者の負担がどの程度なのかが確認される</li> <li>● 分析方法についても、研究結果をどのようにまとめるのか学術的に記入する</li> </ul>
<b>5. 期待される研究成果</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 予想される調査 (実験) の結果を記入し、それにより研究対象者に直接的にメリットがあるか、または直接のメリットがなくても、このような学問的考察によって社会に対してどのように貢献できるのか、また、学術分野にどのように貢献できるのかについて記入する</li> </ul>

**6. 研究成果の公開方法 (公開を前提としない研究は原則として認められません。)**

(1) 発表予定の学会名 :

- 学位論文の種類 (卒論、修論、博論)、発表予定の学会名などを具体的に記入する。発表時期が確定していれば年月まで記入する

(2) 投稿予定の学会誌名等 :

- 投稿予定の学術誌名を記入する

(3) 研究対象者への結果のフィードバック :

- 研究対象者へのフィードバック (研究成果の報告) の方法について記入する (対象者への「説明および同意書」で記入している内容とあわせる)
- 結果 (論文) を郵送するのか、電子データにて送るのか記入する

**7. 研究対象者と人数**

(1) 研究対象者 :

- 研究対象とする人数や所属、条件などについて記入する (特に未成年者や障害を持つ人などを対象とする場合、詳しく記入する)
- 申請後に対象人数が大幅に増える場合は、変更申請書の提出が求められる。人数についてはしっかりと研究計画を固めた上で申請する

(2) 除外基準 :

- 研究の目的に照らして対象とできない方がいれば、どのような方 (ケース) が対象から除かれるのかを記述する

(3) 選出方法 : **選出基準と根拠を具体的に記入する**

- 募集方法についても記入する (募集文面がある場合、別紙として添付)
- 研究対象者が自由意思で研究への参加を決定できるように、適切な募集方法になっているか
- 強制力が働いていないか、本来対象にはできない方を対象にしてしまうことにならないか
- 募集しない場合は、どういった方法 (関係) で研究に協力いただくに至ったのか記入する

**8. 研究対象者の実体験 (図表等を用いて研究者以外の方にも分かるよう、平易な表現でご記入ください、別添も可)**

- 実験や調査方法について図で説明できる場合は本欄に記入する (特に図で説明する必要のない場合は、記入はなくてもよい)



## (3) 個人情報の匿名化の有無

 匿名化しない

理由: ※匿名化することで研究対象者の個人情報やプライバシーを保護することが一般的には求められている。実名で発表する場合、その方の個人情報を研究者の責任下で公表することになるので、より一層の責任が伴う。また、対象者に丁寧な説明を行ない、同意を得ることが不可欠。発表先がどこなのかを含めて、慎重に検討した上で、なぜ匿名化しないのかを説明する

 匿名化する 連結可能匿名化（個人を識別する情報を取り除き、新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成する）

理由：記入例：研究対象者からの開示又は廃棄の請求に応じる必要がある、データの解析結果を研究対象者に知らせる必要がある

※「説明および同意書」に基づき、研究対象者からの開示又は請求に応じることを明記している場合は、連結可能匿名化を選択する

 連結不可能匿名化（個人を識別する情報を取り除き、新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成しない）

理由：

 外部提供機関で匿名化

理由：

 その他（個人情報を収集しない等）

詳細：※研究対象者が1名など、少数で限定される場合については、匿名化するものの、実質匿名化ではないので、その旨を記入。無記名アンケートの場合もこちらに記入する

## 11-2. 保管方法

(1) 保管責任者（所属・職位・氏名）：

(2) 具体的措置：

①場所  学内（ ）  
 学外（ ）

②方法

電子データ  ネットワークに接続されていないPC、HDD 等に保存  電子ファイルにパスワードを設定

その他（ ）

紙媒体  鍵のかかるロッカーに保管

その他（ ）

生体試料（ ）

## 【個人情報やデータの保管について】

個人情報や映像など個人情報が含まれているデータは特に取り扱いを慎重にする必要がある

また、連結可能匿名化を行う場合、対応表と個人情報、研究データはそれぞれ別の場所、別の電子媒体に保管するように留意する

## 11-3. 試料・情報（生体試料、個人情報を含むデータ・資料）を扱う共同研究者の範囲

## 11-4. 廃棄時期・方法

- 研究対象者の同意内容（「説明および同意書」に書かれたこと）に基づいて本欄でも記入する
- 廃棄の時期、廃棄の方法を明確に記入する  
 （同意書については研究終了後、5年間保管の後、廃棄することがガイドラインにて定められている。データについては研究期間終了後、必要なければ削除する）

## 12. 安全の確保

## 12-1. 研究によって対象者に生じる危険や不利益等の可能性

(1) 危険や不利益等の内容（研究中又は研究終了後の身体的・精神的な影響を含む影響について検討すること）：

- 研究対象者に何らかの負担がないか慎重に検討し、記入する
- インタビューにて過去のつらい経験や話したくないことを聞くことはないか
- 検討された結果、危険や不利益がないと判断される場合は、その旨を記入する



<p>①兼業による金銭等利便授受</p> <p>②受託研究費・共同研究費・寄付金の受領による利便関係</p> <p>③知的財産管理</p> <p>④金銭以外の利便の供与</p> <p>⑤組織との利便関係（研究結果の商用利用等）</p> <p>⑥研究者と研究対象者（ex. 学生と教職員）との間に何らかの力関係が懸念される状況</p> <p>⑦立命館大学利益相反マネジメント・ポリシーに反する研究</p> <p>⑧その他（</p> <p><input type="checkbox"/> 該当しない                      <input type="checkbox"/> 該当する</p> <p>内容：</p> <p>対応：</p>	
<p><b>16. 対象者への謝礼</b></p>	<p>【「利益相反の有無と対応」の記入について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業等の資金や協力を受けての研究、製品等に関わる調査など、企業活動に関わる研究である場合、企業との間で経済的な利益相反がないかを申告する。利益相反があること自体は批判されるものではないが、そのことで研究結果に疑いをもたれることがないように、説明することが重要</li> <li>● 授業で教えている生徒を研究対象者とする場合、力関係によって、研究対象者の研究参加の自由意思に影響を与えないよう丁寧な説明が必要</li> </ul>
<p>(1) 内容（該当する項目にチェックを入れてください）</p> <p><input type="checkbox"/> 謝礼</p> <p><input type="checkbox"/> 旅費交通費</p> <p><input type="checkbox"/> なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究対象者が未成年の場合、謝礼を受け取るのは保護者か研究対象者自身のどちらなのか記入する</li> <li>● お菓子やジュースなどは謝礼に記入しなくても良いが、記入のある場合はそのままよい</li> </ul>	
<p>(2) 方法</p> <p>形態（<input type="checkbox"/>時給 <input type="checkbox"/>日給 <input type="checkbox"/>実験期間を通して <input type="checkbox"/>その他（                      ））</p> <p>金額（                      円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高額な謝礼設定は、研究参加者への誘引となり、自由意思による研究参加判断を誤らせる可能性があることを考慮すること</li> </ul>	
<p>(3) 研究参加を途中で辞退した場合の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象者が研究参加を途中で辞退した場合、謝礼はどのようにするのかについて記入する</li> </ul>	
<p>(4) 特記事項</p>	
<p><b>17. 本研究計画の学外機関における審査状況</b></p>	
<p><input type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> 有（ 承認 ・ 審査中 ・ 審査予定 ）</p> <p>委員会名：</p> <p>申請日：</p> <p>承認日：</p> <p>本研究計画との関連：</p>	
<p><b>18. 過去に実施した類似の研究計画</b></p>	
<p>機関名：<input type="checkbox"/>立命館大学 <input type="checkbox"/>その他（                      ）</p>	
<p>承認日：20    年    月    日</p>	
<p>承認番号：</p>	
<p>課題名：</p>	

研究班の構成：

目的、対象、方法等（簡潔に）：

本研究計画との差違：